



川前保育園のみなさん

令和4年2月1日  
発行責任者：滝沢市議会議長  
編集：広報常任委員会

# 第42号

## 今号の主な内容

- 議長挨拶／市民議会／所管事務調査紹介……①
- 一般質問……②～③
- 議決一覧(11月会議・12月会議)／今後の予定……④



今年最初の発行にあたって  
滝沢市議会議長 日向 清一

今年最初の市議会だよりの発行にあたり、滝沢市議会を代表し、謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年新型コロナウイルス感染症は終息には至らず、あらゆる分野に大きな打撃を与えました。当市議会では、一昨年に引き続き、市民の皆さまに直接お会いしての「議会報告会」をやむなく断念いたしました。動画配信形式で開催するなど、コロナ禍における適切な対応と議会の果たす役割の両立に努めてまいりました。

今年、第一次滝沢市総合計画後期基本計画の最終年度を迎える年です。議会では、これまで各常任委員会において取り組んできました「若者定住」のための調査研究結果を一つにまとめ上げ、三月までには市に対し政策提言を行う予定としております。

私たちはこれからも市民の負託に応え、議会としての使命を全うすべく努力してまいりますので、本年も変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆さまのご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

## 市民議会 U22学生編を開催します

開催日時 2月6日(日) 9時から  
開催場所 滝沢市役所4階 議場  
当日は、YouTubeでの中継を行います。  
※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、内容の変更または開催を中止する場合があります。

### 参加予定者と発表テーマ

- 1 滝沢南中学校 志知 倭之介さん・勝田 陽斗さん  
「20年後の滝沢市の高齢者福祉について」
- 2 滝沢第二中学校 仙木 湧太さん・岩崎 泰知さん  
「20年後の滝沢市のために、私たちができることについて」
- 3 一本木中学校 角掛 那緒さん・石井 華純さん  
「私たちの学習環境と防災について」
- 4 姥屋敷中学校 石倉 穂夏さん・宮林 和さん  
「私が望む20年後のたきざわ」
- 5 柳沢中学校 櫻井 宇実さん・岩崎 柰奈さん  
「私が望む20年後のたきざわ」
- 6 滝沢中学校 寺田 千穂さん・井上 はなのさん  
「過ごしやすい地域をめざして」
- 7 盛岡農業高校 村里 怜華さん・松浦 美空さん  
「滝沢の農業を知ってもらおう！」
- 8 盛岡農業高校 千葉 美珠樹さん  
「滝沢市がつくる新しい医療のかたち」
- 9 盛岡北高校 鈴木 桜さん・山口 昇季さん  
「2021滝沢市改革プロジェクト」
- 10 盛岡大学 阿部 姫子さん  
「学生が集うサードプレイス」
- 11 岩手県立大学 山田 玲花さん・菅野 千史さん  
「NEWS滝沢市議会」  
「学生による議会参加のために」
- 12 岩手県立大学 進藤 美優さん・大藤 俊介さん  
「世代間交流から始める20年後の滝沢」

## 常任委員会 所管事務調査

委員会では、議案等の審査のほか、地域の課題解決に向けた調査研究を行っています。総務教育・環境厚生・産業建設の3常任委員会で現在取り組んでいる所管事務調査を紹介します。

| 総務教育      |   | 環境厚生      |  |
|-----------|---|-----------|--|
| 調査項目名称    | 学校教育施設等の整備と今後の活用  | 調査項目名称    | 市の医療体制の構築  |
| 調査理由および目的 | <p>児童生徒が良好な教育環境で学校生活を送ることが出来るかを検証し、今後の施設の活用について調査を行うもの。</p>                | 調査理由および目的 | <p>本市の医療は市内開業医や近郊の盛岡市などの医療機関に支えられているが、新型コロナウイルス感染症の行政検査やワクチン接種のあり方など、市と医療機関との連携不足が浮き彫りになったと感じられる。</p> <p>一方で、国で進める地域包括ケアシステムの成否を握る鍵の1つである「在宅医療」に着目すると、医師会の活動(在宅BOX、やまぼうし)を有機的に連携する施策の構築が不可欠と考える。</p> <p>以上により、医療体制の構築について調査研究するもの。</p>   |
| 環境厚生      |   | 産業建設      |  |
| 調査項目名称    | 地域包括支援センターの運用   | 調査項目名称    | 観光、物産振興とふるさと納税の有利性   |
| 調査理由および目的 | <p>本市の地域包括支援センター(以下「センター」)は、介護予防ケアマネジメント、総合相談、権利擁護および包括的・継続的ケアマネジメント等の業務について、委託や官民協働による実施の可能性を新たなセンターで検証していく方針である。高齢化社会においてセンターは、地域住民にとってより身近で頼りになる存在であり、現在、北部地区では民間委託されている。</p> <p>以上を踏まえ、委託先と本部との連携、今後の中部・南部地区の委託に向けたセンターの運用等について、調査研究するもの。</p> | 調査理由および目的 | <p>観光振興と物産振興については、岩手山、鞍掛山に代表される自然系資源、チャグチャグ馬コを代表とする人文系資源、そして滝沢スイカや滝沢リンゴ、岩魚などの物産系資源を活用した振興施策を講じて、販路開拓に取り組んでいる。この各種振興事業の展開とPRが、ふるさと納税にとって有利性が十分にあるかどうかについて調査研究を行うもの。</p>   |